

悠々でありたくて

山本景子

作物の種の遺伝子組み換え反対運動に加わり五年目。ニュースを沢山受け取りながら、世界中の種を乗っ取り支配しようとしている大企業の思惑に、未来の食と安全に加え戦争も重ねて憂えております。

今は何でもお金で買ってしまう。金に支配されてしまいました。私たちが生きた過去五十年余りのうちに得たものはあるもの、一方失い消えて行った大切なもの……手造りや時間をかけて何かを仕上げていくこと。取り返さねば……その悠々としたものに手を出すためにまたいららと立ち働いている自分。なさけない日々の連続。そんな折、友人から「味噌作りましょ」と誘いがあり、三日三晩かけて一年分を作ってもうこりこりして、中止しておりました。ところがまた最近、違う友人からの、「二kgの大豆で約二時間位で味噌作り成功」との声に乗り、軽々と作り上げました。忙しさに慣れきっている神経は、またまた大量に楽しみたくなり、むずむずと人々を誘いたい誘惑に、悠々と言う言葉忘れてしまいました。

大豆は安芸から二時間かけて奥物部の山の部落に求めに行きます。叔母が住んでいて、もう何十年も昔から作り続けている種で次の年に播き続けているもの。遺伝子組み換えのことも知らず、毎年毎年自然のサイクルに従って収穫したもの種にする。種は店で買う物ではないのです。赤、黒、白、混合(赤と白)と四種の大豆は昔と変わりなく美しく、美味しいものです。なぜこのやり方が駄目なのでしょうか。いいものはあの人この人に分けたくなり、買い過ぎておりました。味噌を一人でせつせと作れることを知った私で、その内、家中が味噌タッパーでいっぱいになるのではないかしら。趣味は？と聞かれたら味噌作りと答えているかも知れません。今、この答えを早く言えるようになりた……。

私の健康法

西内満夫

私もとうとう八十路にたどりついた。これ迄特に健康に気をつけただけではない。健康の秘訣かどうか分からないが、剣道を続けたのが良かったかも知れない。七段教士の称号を授与されている。剣道との関係を振り返ってみよう。あの第二次大戦中、学生時代に二年程剣道を練習した。その後ずうっと剣道からは遠ざかっていった。昭和四十年代に英語教師として丸の内高校に転任した時、剣道部の顧問を引き受けることになった。女生徒と一緒に武道館で練習したりしているうちに、剣道界の人々との交流が始まった。その後城山高校に転任し、そこで高知農業の教え子だった吉本貢さんと出会った。彼は国士館大を出て体育とくに剣道を教えていた。彼から本格的に剣道の手ほどきを受け、その後勧められるままに各昇段試験を受け合格してきた。一九八二年に定年退職になってからは地元須賀町で「子ども剣道教室」を受けもち、小学校の体育館で今春まで二十数年剣道を教えてきた。

今はもう「奇る年波には争えず」で、引退し、のん気に暮らしている。「生涯剣友会」の一員であることが、活力を与えてくれたかも知れない。「継続は力なり」とは名言であると思う。

川柳 小澤幸泉

待晨集②

祈り・遺す・夜明け

一粒の汗が平和となる地球
色褪せた夫婦の紐を染め直す
自画像の最後の色が決まらない
結局は何も変わらぬように見え
風の冷たさ高齢期を気づかさされ

旅のしおり

互助会のバスツアー

三月下旬、高知市教職員互助会主催のバスツアーに参加した。行き先は関西方面で一泊二日の日程でした。一行五十三名が二台のバスに乗り早朝出発した。高退協の仲間が林勤さんと私の二人だけ、旅は道づれ、ご一緒できて幸いでした。

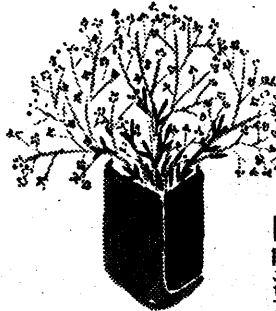
瀬戸大橋経由で一路彦根城に走る。途中多賀SAで昼食をとり国宝彦根城に着く。流石天下の名城だけに城域も城閣も景観も雄大。井伊大老の銅像の前に立ち、幕末の動乱の歴史を思い感無量だった。バスは琵琶湖畔の園城寺(三井寺)へ引き返し、有名な三井の晩鐘や北政所の建立した金堂等を見学した。時間的余裕のない中、私は足早に西国十四番札所の観音堂に行き、般若心経を唱えて世界の平和と安全を祈った。

宿泊は「雄琴」歓楽街のホテルで四つもの温泉浴場があり、どれに入ろうかと当惑した。夜の宴会は賑やかだったが、早めに切り上げ就寝した。高退協の旅行は仲間同士で楽しい。

翌朝、坂本側から世界文化遺産の比叡山延暦寺へと登る。秘蔵薬師如来の安置された根本中堂に入り、僧侶から伝教大師最澄や中堂建造についての話を聞く。七十九本のケヤキの大円柱には圧倒された。「照千一隅は国宝」という掲額に、大乘仏教の自利利他の菩薩行の大切さを再認識させられた。

バスは京都側へと下山し、坂本龍馬ゆかりの伏見の寺田屋へ向う。寺田屋を見学後、月桂冠大倉記念館に入り酒造りの諸道具を見、土産に一合ビン入りの酒を貰い、早速車中で賞味した。昼食は嵐山で風の強く吹く中の嵐山散歩を楽しむ。帰路は、明石大橋経由で八時に帰高した。日頃の多忙の中で息抜きバスツアーを楽しめた。

岡崎清恵



老眼鏡

寺田寅彦の地球観 出色の著



この本は、高知大名譽教授鈴木氏が高知に「寺田寅彦と地球物理学」という連載をされましたが、それを判り易く述べたものです。昨年、著者との会話が難しかったと言ったところ、易しくした本を出すというので入手し、年明け読んで読み始めました。

先ず思ったのは、鈴木氏の寅彦への傾倒ぶり、それからくるなんともいえない心豊かな文章です。

一般に、寅彦ファンは、端々に自然科学的な匂いを感じたとしても、その文学的作品からのアプローチでしょう。私も勿論その一人です。

寅彦という巨人の全体像を私のような浅薄なファンにも橋渡ししてくれたという大きな意味のある著作です。

安岡章太郎氏が、高知で寅彦研究が進まないのをこぼしていたと聞きました。以後編原氏の「寅彦・虎彦」、この「地球観」、さらに力作・編原氏の「連句の研究」と続きました。

安岡氏はこの「地球観」のような著作が現れるとは思っていませんでした。私個人としては、鈴木氏に感謝するところ大です。

なお、安岡氏、寅彦に近親者として特に思い入れがあるようですが、近作「鏡川」の中では、朝倉の叙述で大きな間違いがあります。

安岡氏の作品は、事実のよう、実はフィクションといふのが多いので、目くじらを立てるのはと思うものの、気になるところです。(一)

高退協ニュース

平和・生活向上に向け 共に頑張りました

新しい年度が始まりました。今年も高教組卒業組の大部分の先生が高退協に加入してくれました。また喜ばしからずやです。この先、先生方が高退協に加入して良かったと思つて下さるよう頑張らなくてはと思います。

楽しくなくては集まらない。真面目でなければ続かない。これ迄以上にお互い知恵を出し合つて、第二の人生を有意義に送りたいものです。

この数年、小泉自公政権の下で、平和と国民生活の危機が一段と深まっています。とりわけ、自衛隊イラク派兵の憲法違反は許せません。即時撤退要求の声を高めましょう。憲法・教育基本法の改悪、医療・年金制度の改悪も怒り心頭です。ストレスはたまる一方です。

会長

参議選が目前に迫りました。議会制民主主義体制の下、支持する政党と政策の実現に向け、あらゆる手段で奮闘しようではありませんか。高退協運動の発展のため、ご支援ご協力を心からお願ひします。どうぞよろしく。

「現職教員等の組合加入を訴える取り組みを確認し、行政側から新しい勤務評定が出されるなどの状況のもと、高教組の伝統を守り、共に力を合わせて奮闘していきましょう」とのメッセージを頂きました。

いよいよ議案審議に入り、03年度の活動報告と04年度の活動方針が提案され、質疑応答、意見

高退協 定期総会開く！

新役員に中村正博さん

2004年度の高退協総会は4月17日高知城ホールで開催されました。この日は、イラクにおいて拉致された日本人三名が開放された翌日でした。イラクから自衛隊の即時撤退を求める多くの人々の署名や関係者の努力が報われたものです。イラク情勢が緊迫している中多数の参加で開会しました。まず議長に南千加良さんを選出、昨年度亡くなられた十二名への黙祷を行いました。

そのあと、元気印の岡崎会長から「イラクの現状をみると、ブッシュ大統領は孤立しているのではないか。一方小泉首相はアメリカ一辺倒で、国政での年金法改悪、郵政民営化等々私たちの暮らしを守る姿勢は見られません。こうした情勢のもと、私たちは、運動を更に強化していく必要があると」と挨拶されました。

続いて、年金者組合、竹村会長から「年金の改悪に断固として反対している」とのメッセージが語られました。高教組橋元委員長か

高知高退協
事務局
04.5.11
No.128

岡崎清恵

新役員挨拶

中村正博



退職して一ヶ月経ちました。毎日の何とも言えぬ開放感、経験者？にしかわからない喜びです。

臨時教員時代を含めて三十七年間導いていただいた、偉大な先輩、恩師の皆様の一員に加えていただき光栄です。その上総会では常任委員を仰せつかり、再びプレッシャーを感じています。しかし、高退協の皆様素晴らしい活動に早く参加して、微力ながら頑張るとに誇りを持ちたいと思いますので、よろしくご指導をお願いします。

退任 ご苦労さまでした

私学出身で常任委員をして下さっていた西込曠さんと監査委員の森敏之さんが退任されました。ありがとうございました。

退職組合員を励まし

新加入者を祝う会

総会に続いて、高知県教育を担う高教組新加入者を祝う会と、退職者23名を励ます会を4階ホールで開催しました。

高退協から45名が参加し、総勢110名で盛大な会となりました。退職者一人一人が、教職30余年を総括し、高教組に思いを託しました。高教組退職者・高教組出身管理職23名中17名が高退協に加わり、現有432名の大きな組織に育ちつつあります。そして、今年も私学から新しい仲間を迎えることができました。

草考老話

イラク人質事件でテレビの前に釘付けになった。解放するための要求は自衛隊の撤退であった。純情な純ちゃんはず最初

にブッシュに相談したらしい。それもそのはず。アメリカの要請で派遣したのだから雇主に伺いを立てたのであろう。首相は撤退させないと明言した。撤退させないのを評価すると米政府は言った。これも茶番劇だ。しかし日本人の命を救うよりもイラクで飲み水を作るのを優先するのが自衛隊の行使だと言う。本末転倒も甚だしい。被害者家族が求める面会を首相は「話すことはない」と言つて拒否した。家族の声を首相の耳に入れさせてくれとの要求であったはずだ。首相の耳には不純物が一杯詰まっている。そもそもアメリカが派兵したのはフセインがイラクに大量破壊兵器を隠しているからだと言う。昨年四月戦争終結宣言があったとき、小泉首相は記者団の質問に答えて「大量破壊兵器は一ヶ月くらいで見つかるでしょう」と言つた。その後なかなか見つからないのを「フセインが見つかからないからと言って大量破壊兵器がないといえるか」と詭弁を使った。では質問しよう。「フセインが見つかったのに、なぜ大量破壊兵器が見つからないのか。大量破壊兵器は伏隠（フセイン）か」ところで今年四月になつて二十日間で米兵百人が死亡したのに対して、米政府はイラク人も千人死んだと発表した。米兵百人を犠牲にしてもイラク人を一人も殺さず治安を守つたと言ふなら美談にでもなる。敵を大量に殺すのが手柄になるのだから戦争は恐ろしい。たとえイラク人を一万人殺したと言つても、米兵遣族は納得できないであろう。

高知県高等学校退職教職員協議会
高知市丸ノ内2丁目1-10
教育会館内高教組気付
TEL 088-1822-16822
01650-1211-1893